家が家事になった場合

住宅火災が起こると、煙や炎で避難ができなくなるまで出火からおよそ3～5分。避難ができる時間はわずか。そのわずかな時間を生かすには火災に対する心構えが大切です。

●火災を発見したら

火災を発見したら、大きな声で「火事だ！」とみんなに知らせましょう。寝ている家族を叩き起こすぐらいの大きな声で！

もちろん119番通報も忘れずに。

●初期消火の限界

みなさんのお宅に消火器は準備していますか？消火器の放射時間は約15秒。炎が天井面に達するぐらいが消火器による初期消火の限界です。自分の身の安全を確保できる範囲で火元に近づき消火剤を放射しますが、うまくできそうになかったり、身の危険を感じたらすぐに避難をしましょう。

●再進入をしない

避難する際に大事なものを持ち出さないと…、と考えているうちに避難のタイミングを失うかもしれません。いったん外に避難したのに再び燃え盛る家の中に入ることも大変危険です。

●避難方法を考えておく

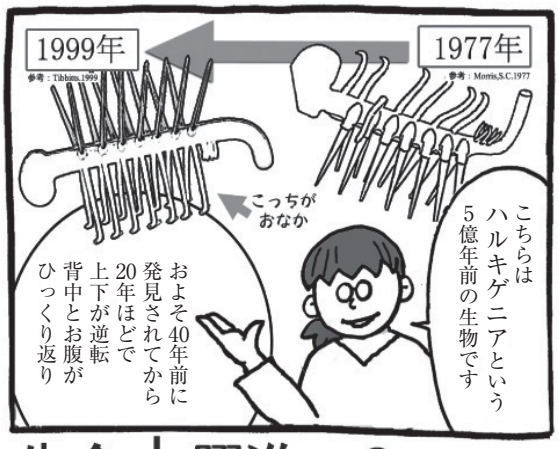
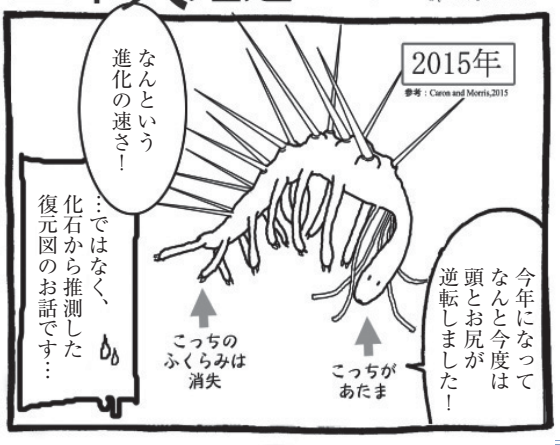
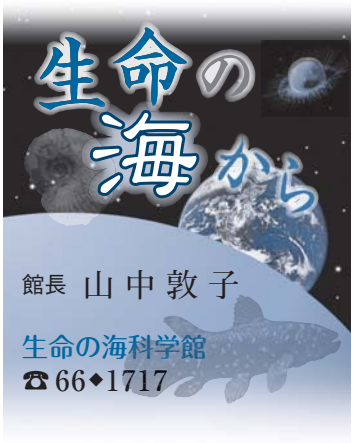
火災の際、いつも玄関から避難できるとは限りません。普段から玄関以外の避難経路を考えておきましょう。また、病気や身体不自由の高齢者、乳幼児など避難弱者の居住場所や寝室はできるだけ1階または避難しやすい場所を生活の中心に。

●火事にあうと本当に大変

自分の家が燃えてしまうと今までの生活が一変してしまいます。貴重な財産を失い、慣れない仮住まいを強いられるほか、さまざまな事務手続きなどがあり、これらがストレスの原因にも。安心安全・健康的な生活を脅かす火災、今一度、皆さんのお宅も「火の用心」。

生命大・躍・進！

「最近の恐竜には毛が生えているらしいよ」と言われました。「そうなんですよね。私が子どもの頃はゴジラみたいだったのにねぇ」なんて返したのですが、考えてみればおかしな話ですよね、「最近の恐竜」だなんて。彼らは6千550万年前に絶滅してしまっているんですから！

ゴジラみたいにしっぽを引きずって歩いていたのが、尾を高く上げて前傾姿勢でバランスを取るようになり、あまつさえフワフワした羽毛に覆われるようになってきた…のは恐竜（の一部）の復元図のお話です。新しい化石が発見され、技術が進歩し化石から新しい知見が得られるようになって、恐竜のイメージも随分変わりました。

9月下旬から今年も〝あいちサイエンスフェスティバル〟が始まります。愛知県全域で行われる科学のお祭で、今年のテーマは〝進化〟とのこと。「最近の恐竜」や「最新のアノマロカリス」に出会えるかも!? ぜひご参加ください。